

つうしん SPS通信



だいごうれいわねんがつつたち はっこう
第4号 令和4年 3月1日 発行

おおさかふりつちゅうおうちようかくしえんがっこう
大阪府立中央聴覚支援学校

さいがいあんぜん きょうりょく 災害安全アンケートのご協力ありがとうございました!!

がつ にち ほごしゃ みなさまむ さいがいあんぜん じっし けっか さんこう こんご がっこう
1月28日に、保護者の皆様向けに『災害安全アンケート』を実施しました。アンケートの結果を参考に今後の学校

ぼうさい とく かつよう こんかい つうしん しゅうやく けっか いちぶ つた
防災の取り組みに活用させていただきます。今回のSPS通信では、アンケートを集約した結果の一部をお伝えいたし
ます。

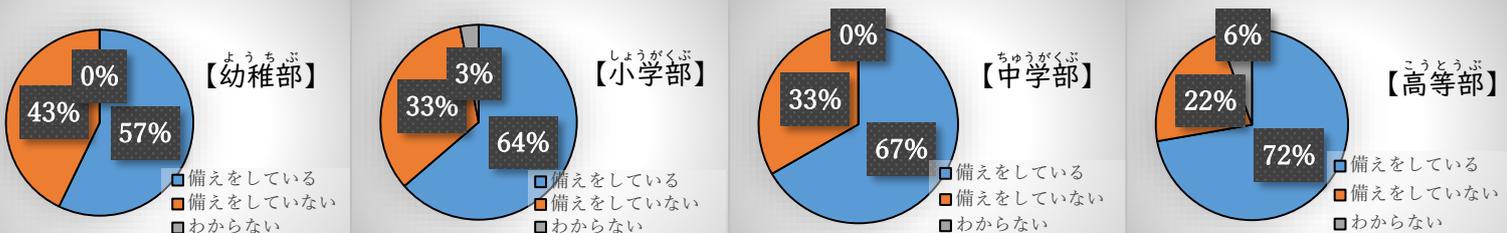
ほごしゃむ ようちぶ しょうがくぶ ちゅうがくぶ こうとうぶ 保護者向けアンケート(幼稚部、小学部、中学部、高等部)

① 普段から地域住民とは、つながりを持ち、災害時にはお互いに助け合える関係ですか。



『はい』と答えられた方の回答には、「町内会に入る」「隣に住んでいる人と協力できるように関係を作っている」「子どもの障
がいについて説明して何かあった時は助けてほしいと頼んでいる」等がありました。災害時は『共助』の視点が重要です。お子様
が自宅で、一人で被災した際、助けてくれる人が近所で3人いると良いというめやすがあるそうです。

② ご家庭で地震や津波などの自然災害への備えを何かしていますか？

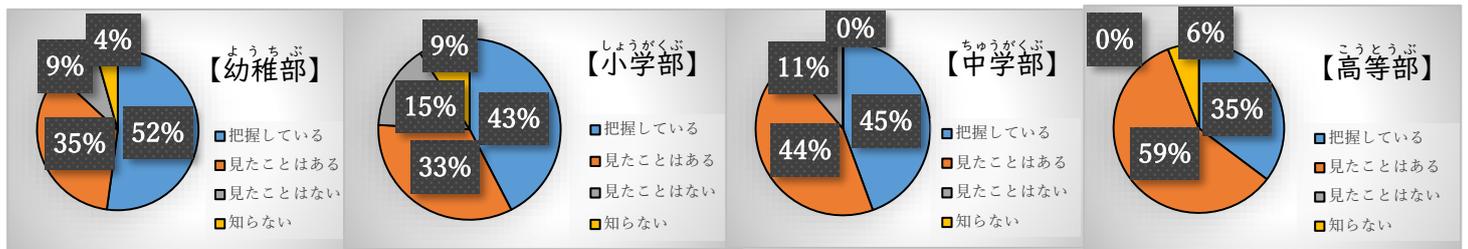


しょくりょう かん びちく さいてい かぶんひつよう い なんかい じしん そうてい ばあい しゅうかんぶんいじょう のぞ
食料に関する備蓄は最低でも3日分必要とされています。南海トラフ地震を想定した場合は1週間分以上が望ましいです。

しょくりょうがい ひつよう もの たいせつ ふだん つか ふだん つか
食料以外にも必要な物はたくさんありますが、大切なのは「普段から使えるものを用意する」または「普段から使うようにする」と

いうことです。ローリングストック法を使うのも良いと思います。

③ハザードマップなどで、ご自宅の災害リスクを確認していますか？

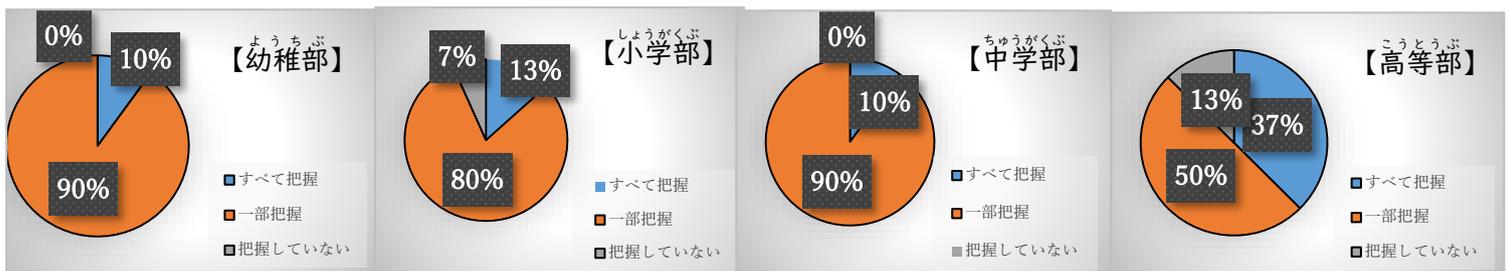


ハザードマップとは、災害(洪水・津波・火山・地震・土砂災害)が発生した場合に、被害が及ぶと想定される区域や避難に関する

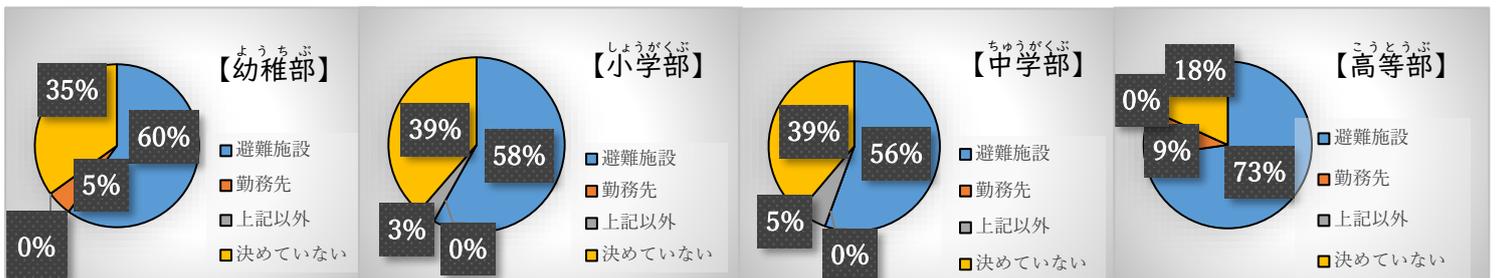
情報を地図にまとめたものを言います。各市や各区のホームページに掲載されていますので、一度ご確認ください。最近では、パンフ

レットのように分かりやすくまとめてあるものが多いので、印刷してご自宅に掲示しておくのもよいかもしれません。

④避難場所、避難経路を把握していますか？(③で『把握している』と答えた方のみ)



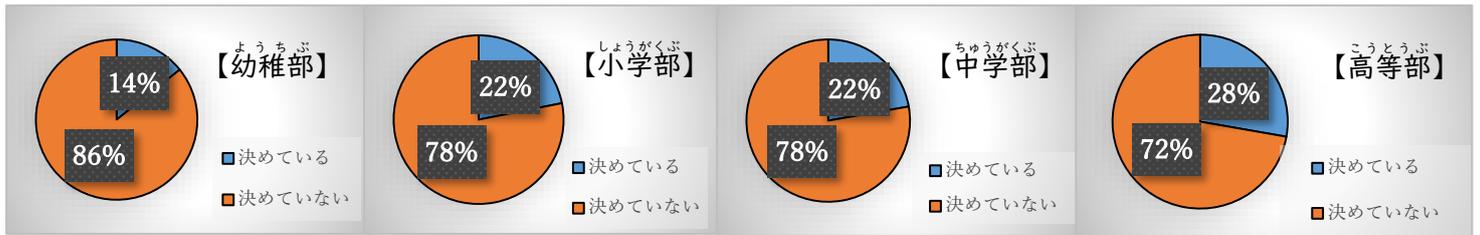
⑤災害時に自宅以外の家族の集合場所・避難場所を決めていますか？



多くのご家庭が、自宅近くの避難所を家族の集合場所として設定しているようです。いつどこで起きるかがわからないのが災害で

す。いくつかのパターンを想定して家族の中での約束事を話し合ってみるのもよいかもしれません。

⑥災害時のお子様の安否確認方法を決めていますか？



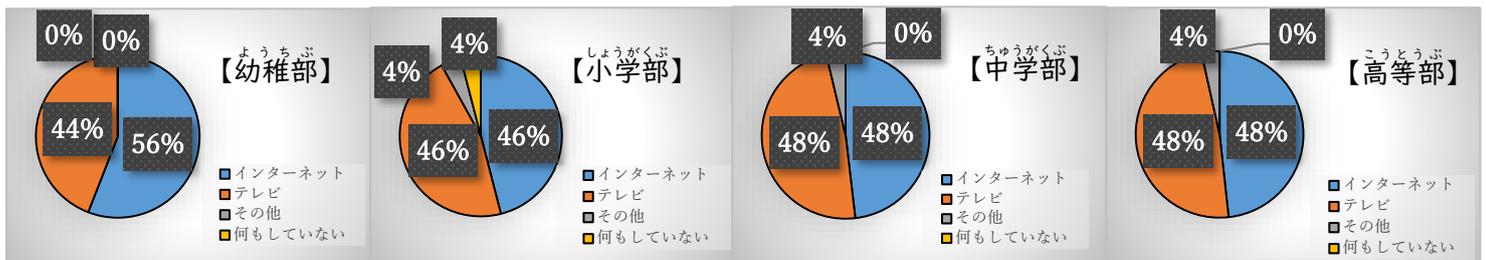
災害発生時の安否確認の方法として、『災害用伝言ダイヤル(171)』と『災害用伝言板(web171)』があります。災害用

伝言板はテキストで安否情報を登録することができます。これらのシステムは、災害時はもちろん毎月1日・15日や防災週間(8

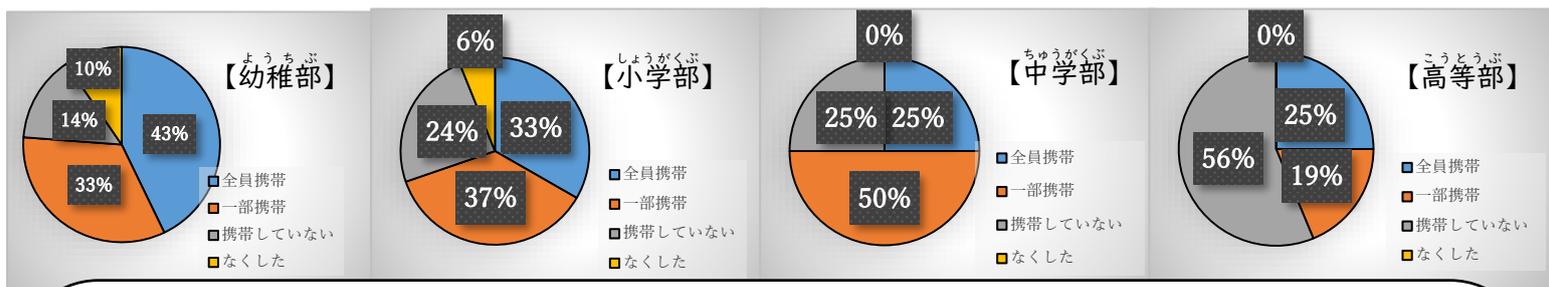
月30日~9月5日)、正月三が日、防災とボランティア週間(1月15日~21日)には体験利用が可能です。このような機会も

利用しながら、安否確認方法のルールを作っておくことも大切です。

⑦災害に関する情報はどのように収集していますか？



⑧引き渡し者となっている方は常にQRカードを携帯していますか？



本校では、災害発生時にお子様を保護者の皆様に引き渡し際にQRカードを使用します。使う機会がないことがもちろん良いの

ですが、万が一の場合に備えて引き渡し者となっておられる方々については常に携帯していただきますようお願いいたします。

もし、QRカードに登録している情報に変更が生じた場合は、すぐに担任までご連絡ください。また紛失した場合も速やかに担任ま

でご連絡ください。

かくかてい つか 「ぼうさい さくせい かつよう
☆各家庭で使える『防災チェックリスト』を作成しました。ぜひご活用ください。

() 家の防災チェックリスト

① 家具類の固定、落下防止

家具固定・・・リビング キッチン 寝室 各自の部屋

落下防止・・・している 一部している していない

② 防災情報の確認

緊急地震速報を携帯電話等で受け取ることができる。

5段階の警戒レベル、避難勧告、避難指示(緊急)等を理解している。

特別警報、各種警報、警戒情報を理解している。

各種情報が発令された時の行動を考えている。

③ 安否確認、連絡方法の確認

連絡方法の相談(LINE、メール、災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板など)

家族が離れた場所で被災した場合の対応 【話し合っている／話し合っていない】

④ 避難場所、避難所の確認

一時避難場所、広域避難場所、避難所を把握している。

避難経路を複数確認している。

⑤ 備蓄品、非常持ち出し品の確認

飲料水(人数×3L×7日分がめやす) 食料(3日分の主食、副食類) 熱源(カセットコンロ等)

防寒具 ランタン、懐中電灯 電池 スマートフォン充電器

常備薬等 感染症予防グッズ(マスク、消毒液等) (ペットを飼っている場合) ペット用備蓄品

非常持ち出し品を家族それぞれが準備している。